



北海道霧多布高等学校
英知・錬磨・創造
霧高だより

教育目標
1 学習を重んじ、高い知性と豊かな情操を持った人をつくらう。
2 秩序を重んじ、個々人の責任と義務を果たす人をつくらう。
3 個々の人間性を重んじ、互いに協力し合う人をつくらう。
4 健全な体と意志を錬磨し、創造的に生きる人をつくらう。

発行日：令和2年11月30日（月）

☆校長室より☆

「霧高生は元気に頑張っています」

11月が終わろうとしているこの頃、生徒たちはより一層頑張っています。

3年生は進学・就職ともに順調に進路実現を果たしつつあります。特に就職に関しては、地元企業の多大なご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。2年生は最大の行事である見学旅行を終え、無事戻ってまいりました。今回は行程を東北の松島～石巻～平泉～仙台としました。松島の瑞巖寺見学、石巻での防災学習や石ノ森章太郎先生由来の漫画館見学、平泉の中尊寺金色堂散策、仙台での丸一日自主研修と水族館見学等々、天気にも恵まれ有意義な内容でした。1年生は11月5日に根室市を訪れ、北方領土学習を行いました。こちらにも、天気にも恵まれ、国後島を望みながら充実した学習ができています。

さて、12月7日(月)から11日(金)までは授業公開週間です。道内のコロナ感染状況が悪化する中、例年のように、「どなたでもお越しくください。」ということとはできないのですが、案内のありました方はぜひ、本校の授業の様子・生徒の様子をご覧ください。ちなみに、最終日11日(金)には冬季球技大会を町総合体育館で行っております。競技種目はバレーボールです。

今後とも保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(校長 武藤 禎弘)

1 学年 北方領土学習

私が北方領土学習に行った感想は、根室の北方四島交流センター「ニホロ」に行って昔の人々が北方領土に住んでいたときの暮らしや当時おこなわれていた小学校の行事など、色々と知ることができて良かったです。納沙布岬では、各県の石が埋められていて、改めて北方領土問題は日本の問題だということを感じました。北方領土資料館では北方領土に住んでいるロシア人の生活や、望遠鏡を通して実際の北方領土を見ることができました。日本の領土といいながら、行くことができないことが不思議です。早く、北方領土問題が解決して欲しいと思います。

(1年A組 横山 萌)



～見学旅行を終えて～

新型コロナウイルスが流行する中で、例年通り東京ではなく、宮城県での見学旅行となり、少し不安を感じていましたが、終えてみると東京より楽しかったのではないかと思います。めったに行くことのない仙台での見学旅行は得るものが多くてとてもたくさんのことを学ぶことができました。色んな人と交流できて良かったです。

(2年A組 上原 雅偉)

私は見学旅行に参加し、震災の恐ろしさを改めて知ることができました。見学旅行2日目に私たちは実際に被災した石巻市に行き、語り部さんの話を聞きました。そこには、被災したそのままの小学校があり、私たちが住んでいる浜中町も海が近いので重ねてしまい、とても怖くなりました。いつ来るかわからない津波に備えて準備しておこうと思いました。

(2年A組 渡邊 由愛神)



行事予定

- 4日(金) 視察研修保護者説明会
- 11日(金) 冬季球技大会
- 15日(火) インターシップ報告会
- 19日(土) 冬のご褒美 in 霧カフェ (予定)
- 23日(水) 各種視察研修町長訪問
- 25日(金) 冬季休業前全校集会
視察研修出発式
- 26日(土) 冬季休業
- ～1月11日まで



霧カフェも実施予定